

美術館の展覧会を
お得に楽しめる
年間パスポート
主なメンバーステージ：
「TAKASAGO」
年会費 5,000円



特典1	特典2	特典3
企画展が全て無料！	コレクション展が 全て無料！	駐車券10時間分進呈！

※展覧会によっては回数制限があります。

他にも特典多数！



詳しくはコチラ！

ご利用案内

〈開館時間〉 10:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで（入場は閉館の30分前まで）

〈休館日〉 なし（館内点検等による臨時休館を除く）

〈駐車場〉 屋外駐車場（143台）利用時間 24時間

地下駐車場（107台）利用時間 8:00～23:00 ※利用時間外出入庫不可

利用料金 最初の30分以内 無料 / 30分を超える1時間以内 200円

1時間を超える30分ごと 100円 ※ただし23:00～8:00は900円を上限とする

〈アクセス〉 JR大分駅府内中央口（北口）から徒歩15分 大分ICから車で10分



OPAM
Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号
<https://www.opam.jp>



コレクション展

当館の豊富なコレクションから
選りすぐりの名品をご紹介します。
季節やテーマに合わせて様々な
「出会い」をお楽しみください。



福田平八郎 《雲》 1950年



児島善三郎 《ミモザを配する草花》 1955年



飯塚琅玕齋 《果籃 待虎》 昭和前期

教育普及 みる・つくる・かんじる



ワークショップ春夏秋冬・体験から鑑賞まで

身体と感覚を活性化させる遊びや制作と、みんなでコレクション展示室の作品を観ることを組み合わせたワクワク・ドキドキのワークショップです。

アトリエ・ミュージアム みんなでつくろう！

小さい子どもから大人まで、美術館に来た人は誰でも参加できるワークショップです。いろいろな素材に触ったり、描いたり、つくります。内容は当日来てのお楽しみです。

特別ワークショップ&レクチャー

美術の世界が広がるとっておきの時間です。日常の中にある美術や美術作品のお話会から、美学・美術史の話、専門的な技法講座や専門家を招いての講座といった多様な講座を開催します。

スクールプログラム

学校や園を対象とした「みる」「つくる」「かんじる」を組み合わせた美術体験プログラムや、学校の先生のための講座などを開催します。

共催展

第44回高山辰雄賞ジュニア美術展

会期：2026年8月22日（土）～8月27日（木） 会場：3F展示室B

料金：無料 主催：高山辰雄賞ジュニア美術展実行委員会

第62回大分県美術展

会期：2026年10月6日（火）～11月8日（日） 会場：1F展示室A・3F展示室B

料金：一般 500円 大学・高校生 300円 主催：大分県美術協会

第45回大分県ジュニアデザイン展

会期：2027年3月16日（火）～3月21日（日・祝） 会場：3F展示室B

料金：無料 主催：大分県造形教育研究会

2026.4
▼
2027.3

大分県立美術館
年間スケジュール

OITA PREFECTURAL
ART MUSEUM
EXHIBITION SCHEDULE



(上) © 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. SP660010
(右) 草間彌生《かぼちゃ》1990年 Wコレクション
© YAYOI KUSAMA 画像転載禁止
(左) ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《長い髪をした若い娘(あるいは麦藁帽子の若い娘)》1884年
三菱一号館美術館寄託

OPAM
Oita Prefectural Art Museum

2026.4	企画展	5 カイ・フランク展 時代を超えるフィンランド・デザイン	6 ラブ! ヴァンガード!! 前衛を愛した、あるコレクターの眼 -草間彌生、ヘイター and more	7 Hello Kitty展 -わたしが変わるとキティも変わる-	8 コレクション展 I	9 コレクション展 II	10 コレクション展 III	11 第44回高山辰雄賞ジュニア美術展	12 わたしたちのルノワール -日本が恋した永遠のほほえみ	2027.1 出光美術館名品展 出光佐三のこころ—美を守り、未来へつなぐ	2 コレクション展 IV	3 ヨシタケシンスケ展かもしれない
--------	-----	------------------------------------	---	-------------------------------------	----------------	-----------------	-------------------	------------------------	-------------------------------------	--	-----------------	----------------------

4/25 [土] ▶ 6/14 [日]

カイ・フランク展 時代を超えるフィンランド・デザイン

会場 1F 展示室 A

フィンランドを代表するデザイナー、カイ・フランク (1911-1989)。人々の暮らしに寄り添い、社会的な課題を解決するデザインを目指したフランクは、「フィンランド・デザインの良心」と呼ばれています。本展はヘルシンキ建築 & デザイン・ミュージアムのコレクションを中心に、ガラス器、陶磁器などの代表作、ファブリック、スケッチ、写真や映像 250点以上を展示。また3回の来日を果たしたフランクの足跡や、彼に影響を受けたデザイナーの作品も紹介します。時代を超えて今なお愛されるカイ・フランクの作品と、彼のデザインを支える思想に迫る大回顧展です。



《1621》1955年、《1610》1954年
©Architecture & Design Museum Helsinki,
Photo: Rauno Träskelin

2027
11/13 [金] ▶ 1/11 [月・祝]

出光美術館名品展 出光佐三のこころ—美を守り、未来へつなぐ

会場 3F コレクション展示室

出光美術館は、出光興産の創業者であり、美術館創設者の出光佐三 (1885 ~ 1981) が70余年の歳月をかけて蒐集した美術品を展示・公開するため、昭和41年 (1966)、東京都千代田区丸の内に開館しました。そのコレクションは、国宝2件、重要文化財57件を含む約1万件にのぼります。本展では、出光佐三がよく愛した仙崖の禅画、古唐津や中国陶磁から、近現代の日本・西洋の美術、さらには近年新たにコレクション加わった江戸絵画に至るまで、各分野から厳選した名品をご紹介します。



《繪唐津柿文三耳壺 (手指)》桃山時代
重要文化財 出光美術館

6/13 [土] ▶ 8/16 [日]

ラブ! ヴァンガード!! 前衛を愛した、あるコレクターの眼 -草間彌生、ヘイター and more

会場 3F 展示室 B

本展では、一人のコレクターの審美眼に基づき、独創的な表現でアートの先端を切り拓いてきた作家の作品を収集した「Wコレクション」の全貌をご紹介します。「ヴァンガード」(前衛 / 革新 / 先駆)というキーワードのもと、作品収集の原点となった版画界の巨匠スタンリー・ウィリアム・ヘイターから、具体美術協会、河原温、奈良美智など日本の戦後美術を経て、草間彌生へとたどり着いたコレクターの「歩み」と、その「眼識」に迫ります。特にコレクションの中核をなす草間彌生は、初期から現在に至る作家の軌跡と芸術的エッセンスが余すところなく網羅された極めて重要な作品群です。ぜひこの機会にご堪能ください。



草間彌生《かぼちゃ》1990年 Wコレクション
© YAYOI KUSAMA
画像転載禁止

7/17 [金] ▶ 9/23 [水・祝]

Hello Kitty展 -わたしが変わるとキティも変わる-

会場 1F 展示室 A

ハローキティは誕生から半世紀を迎え、今や世界中で知られ、愛されています。世の中を見渡しても稀な存在と言えるでしょう。なぜそのようになり得たのでしょうか? そのヒントは、実はファンひとりひとりとの関係性にあったのです。本展では、「キティとわたし」の50年をテーマに、ハローキティだけが持つユニークさをひも解いていきます。さまざまなテーマの展示コーナーや史上最大量のグッズを展示するほか、個性あふれるアーティストとのコラボ作品、オリジナル映像コンテンツ、フォトスポットなど、見どころと体験にあふれた展覧会です。



© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. SP660010

2027
11/23 [月・祝] ▶ 1/17 [日]

わたしたちのルノワール -日本が恋した永遠のほほえみ

会場 1F 展示室 A

2027
11/23 [月・祝] ▶ 1/17 [日]

わたしたちのルノワール -日本が恋した永遠のほほえみ

会場 1F 展示室 A

19世紀を代表するフランス印象派の画家、ルノワール。明るく幸福な雰囲気に満ちたその作品は世界中で愛され、ここ日本において最も人気のある画家の一人です。本展は日本各地の美術館が所蔵するルノワール作品を一堂に集め、遠い異国の画家であったルノワールが日本に受容され、わたしたち日本人にとって身近な画家となっていくまで、いわば、「わたしたちのルノワール」になるまでの変遷を、同時代の印象派作家、影響を受けた日本人作家たちの作品とともにご紹介します。



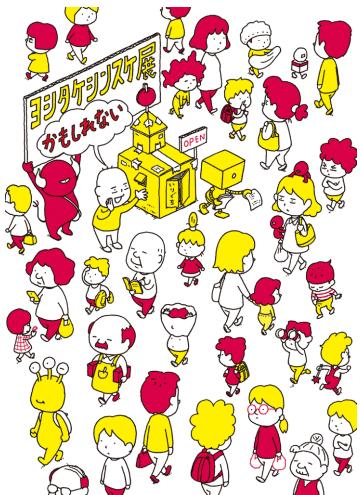
ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《長い髪をした若い娘 (あるいは麦帽子の若い娘)》1884年
三菱一号館美術館寄託

2027
2/6 [土] ▶ 4/4 [日]

ヨシタケシンスケ展かもしれない

会場 1F 展示室 A

本展では、絵本作家・ヨシタケシンスケが長年にわたって身の回りのできごとを描きためたスケッチの複製約2,500枚をはじめ、絵本の制作過程をたどることのできるアイデアスケッチや原画、私物コレクションなどをご紹介。また、ヨシタケシンスケが考案した、うるさいおとなにリンゴを投げるインタラクティブなアトラクションなど、絵本の世界を体感できる仕掛けが盛りだくさん! 発想の豊かさに支えられたヨシタケシンスケの「かもしれない」展示空間を、ぜひご体感ください。



展覧会メインビジュアル ©Shinsuke Yoshitake

記載内容には変更が生じる場合があります。予めご了承ください。